

## 施策目標個票

(国土交通省24-④)

施策目標	技術研究開発を推進する	
施策目標の概要及び達成すべき目標	技術研究開発の成果をタイムリーに社会に還元していくため、目標を適切に設定し、それに基づいて技術研究開発を効果的・効率的に推進する。	
施策目標の評価、達成状況及び今後の方向性	施策目標の評価	「順調である」
	施策目標の達成状況及び今後の方向性	国土交通省技術基本計画に基づいた施策の着実な展開により、業績指標の実績値は、施策目標の達成に向けて着実な成果を示している。 今後とも、技術研究開発の成果をタイムリーに社会に還元していくため、着実な施策の実施が必要であり、国土交通省技術基本計画(平成24年12月策定)に基づき、技術研究開発の特性に応じた施策を展開する。

業績指標	177 目標を達成した技術研究開発課題の割合	初期値	実績値					評価	目標値
		-	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		毎年度
		-	-	-	-	95.7%	87.2%	A-2	80%
年度ごとの目標値		-	-	-	80%	80%		-	

施策の予算額・執行額等【参考】 ※下段〈〉書きは、複数施策に関連する予算であり、外数である。	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求額
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	22,906 〈529〉	21,015 〈522〉	20,371 〈452〉	19,675 〈225〉
補正予算(b)		0 〈0〉	4,789 〈0〉	△ 289 〈△17〉	-	/
前年度繰越等(c)		298 〈0〉	211 〈0〉	562 〈0〉	-	/
合計(a+b+c)		23,204 〈529〉	26,015 〈522〉	20,644 〈435〉	19,675 〈225〉	/
執行額(百万円)		22,827 〈529〉	22,516 〈522〉	/	/	/
翌年度繰越額(百万円)		211 〈0〉	562 〈0〉	/	/	/
不用額(百万円)		165 〈0〉	2,937 〈0〉	/	/	/

学識経験を有する者の知見の活用	国土交通省政策評価会(平成25年6月14日)
-----------------	------------------------

担当部局名	大臣官房 総合政策局	作成責任者名	大臣官房技術調査課 (課長 田村 秀夫) 総合政策局技術政策課 (課長 吉田 正彦)	政策評価実施時期	平成25年8月
-------	---------------	--------	---	----------	---------

**業績指標 177**

目標を達成した技術研究開発課題の割合

評価	
A-2	目標値：80%（毎年度） 実績値：87.2%（平成24年度） 初期値：－

**(指標の定義)**

当該年度に事後評価を実施した技術研究開発課題のうち、外部評価により「目標を十分達成した」または「概ね目標を達成した」と評価された技術研究開発課題の割合

**(目標設定の考え方・根拠)**

技術研究開発の成果をタイムリーに社会に還元していくためには、目標を適切に設定し、効果的・効率的に実施することが重要である。この観点から、以下のとおり目標を設定した。

当該年度に事後評価を実施した技術研究開発課題のうち、目標を達成した技術研究開発課題の割合を業績指標として設定し、毎年度、80%以上達成することを目標とした。

実績値の算定にあたっては、外部評価にて個別研究開発課題ごとに「目標を十分達成した」、「概ね目標を達成した」、「あまり目標を達成できなかった」、「目標を達成できなかった」の4段階で評価し、そのうち「目標を十分達成した」または「概ね目標を達成した」ものを「目標を達成した」ものとする。

なお、平成23年度より設定した目標のため、平成22年度以前の実績値については、記載していない。

**(外部要因)**

- ・設備の故障等の不可抗力
- ・資機材の入手難等

**(他の関係主体)**

なし

**(重要政策)**

**【施政方針】**

なし

**【閣議決定】**

なし

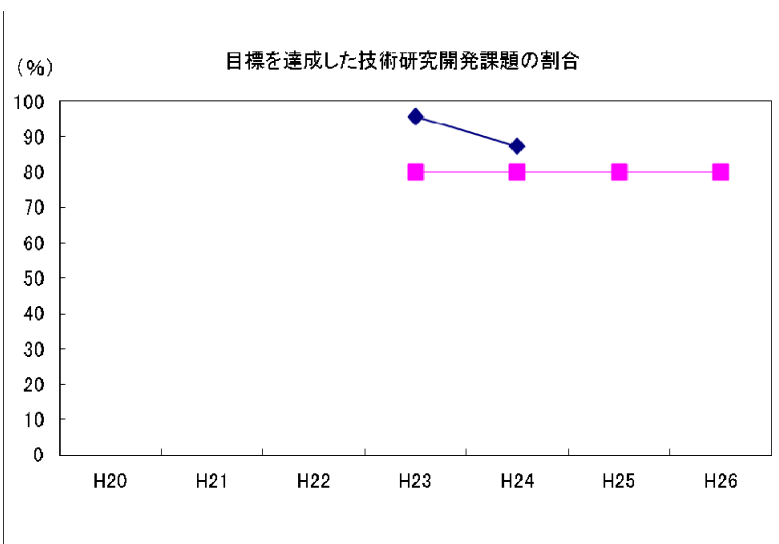
**【閣決（重点）】**

なし

**【その他】**

なし

過去の実績値				(年度)
H20	H21	H22	H23	H24
－	－	－	95.7%	87.2%



## 事務事業の概要

### 主な事務事業の概要

技術研究開発の推進に必要な経費 予算額 1, 541百万円 (平成24年度)

### 関連する事務事業の概要

該当なし

## 測定・評価結果

### 目標の達成状況に関する分析

(指標の動向)

「順調」

平成24年度については目標値を達成している。

(事務事業の実施状況)

目指すべき社会の実現のため、様々な要素技術をすり合わせ・統合し、高度化することにより、社会的な重要課題を解決し、国民の暮らしへ還元する科学技術を推進している。

平成24年度は、39件の研究開発課題の事後評価が実施され、そのうち34件が「目標を十分達成した」、「概ね目標を達成した」と評価された。

なお、個別の研究開発課題では、評価の実施にあたっては別途外部の専門家の知見を活用した評価（外部評価）が行われており、研究開発課題の結果については、

<http://www.mlit.go.jp/common/000992864.pdf>

に掲載している。

### 課題の特定と今後の取組みの方向性

業績指標については、平成24年度の目標値を達成していることから、引き続き技術研究開発を推進していくこととし、A-2と評価した。

## 平成25年度以降における新規の取組みと見直し事項

(平成25年度)

なし

(平成26年度以降)

なし

## 担当課等（担当課長名等）

担当課： 大臣官房技術調査課（課長 田村 秀夫）

総合政策局技術政策課（課長 吉田 正彦）

関係課： 鉄道局技術企画課技術開発室（室長 岸谷 克己）

国土技術政策総合研究所企画部研究評価・推進課（課長 渡辺 春彦）

国土地理院企画部企画調整課（研究企画官 中島 秀敏）